メンターの行動規範

すべきこと

- セッションに参加する子供たちに、安全で安心できる環境を提供すること。
- 性別、年齢、宗教、民族、信条に関わらず、すべての子どもを一人の人として、平等に敬意を払って接すること。
- 教師ではない方が学校でセッションを運営する場合は、少なくとも 10 人の子供に対して 1 人の大人の比率を確保すること。
- 適切な身体接触とは何かを認識し、子供の同意を得た場合にのみ身体接触を行うようにすること。
- 各個人の他人との境界線を尊重すること。
- 安全保護に関する問題を目撃したり、そのことを知らされたりした場合には、どう対処すべきかを知っておくこと。
- 不明な点があれば、私たちまたは他のクラブリーダー/メンターに連絡し、話し合うこと。
- セッション中に不適切な行動があった場合にどう対処するかについて、他のクラブリーダー/メンターと話し合い、会場/クラブに行動管理ポリシーがあるかどうかを確認すること。
- 年齢に応じた建設的な励まし、賞賛、批評を行うこと。
- 必要と思われる場合、クリエイターを意思決定に参加させること。
- グループの年齢や希望に適したリソースを使用すること。
- 18 歳未満の若者とのすべての電子メール通信は、必ず保護者にコピーを渡すこと。
- 子どもたちが互いに支え合い、学び合う、前向きで協力的な雰囲気を大切にすること。
- 子どもたちにデジタル工作で実験してみること、物事を間違えること、そして自分の過ちから前向きな教訓を学ぶように働きかけること。
- 楽しくコーディングすること！

メンターの行動規範

してはならないこと

- 個々の子供と二人きりで時間を過ごさない。子どもと個別に話し合いをする場を持つ必要がある場合は、できるだけオープンに、ドアを開けたままにして、話し合いをすることを責任のある別の大人に伝えてること。
- 攻撃的または性的なことを暗示する言葉やボディーランゲージを使わない。問題が起こることがないようにするため、その使用も許さない。
- いかなる形でも、不適切な身体的接触を許したり、関わったりしない。やむを得ず身体接触が必要な場合、例えば、困っている子供を慰めたり安心させたりするときなどは、子供の同意を得た上でのみ行うこと。
- 子どもたちが自分できる私的なことには手を出さない。
- 子どもや若者たちに体罰を与えない。
- 特定の子どもだけを特別扱いしたり、不当な批判や嘲笑、あるいは不当な注目の対象にしたりしない。
- 子どもだけを車に乗せない。これが避けられない場合は、両親や保護者および組織内の誰かの完全な同意と認識がある場合にのみ行うこと。
- 計画された活動以外では、子供や若者と不適切な交流をしない。
- セッション以外では、ソーシャル メディアや電話などを通じて若者と 1 対 1 でコミュニケーションをとらない。
- 子どもを自宅に連れて行かない。